

# 岩手県内の中高生を対象としたアンケート調査結果取りまとめ概要

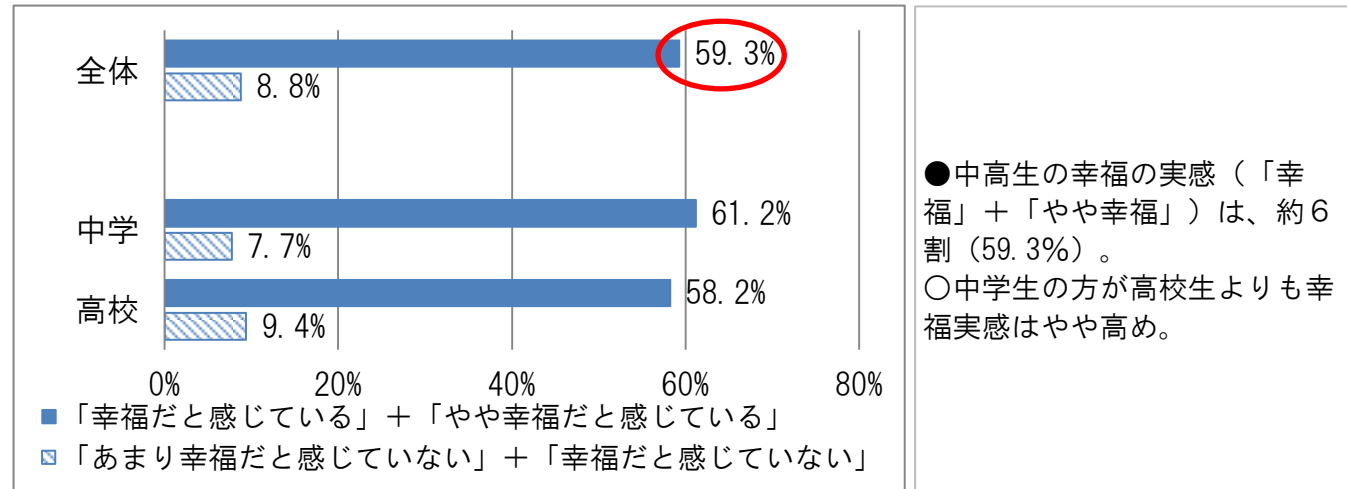
## 【調査の概要】

県内の公立中学校の2年生（1,306人）及び県立高校の2年生（2,317人）を対象に、平成29年11～12月にかけて調査。有効回答率は96.2%（3,484人/3,623人）。

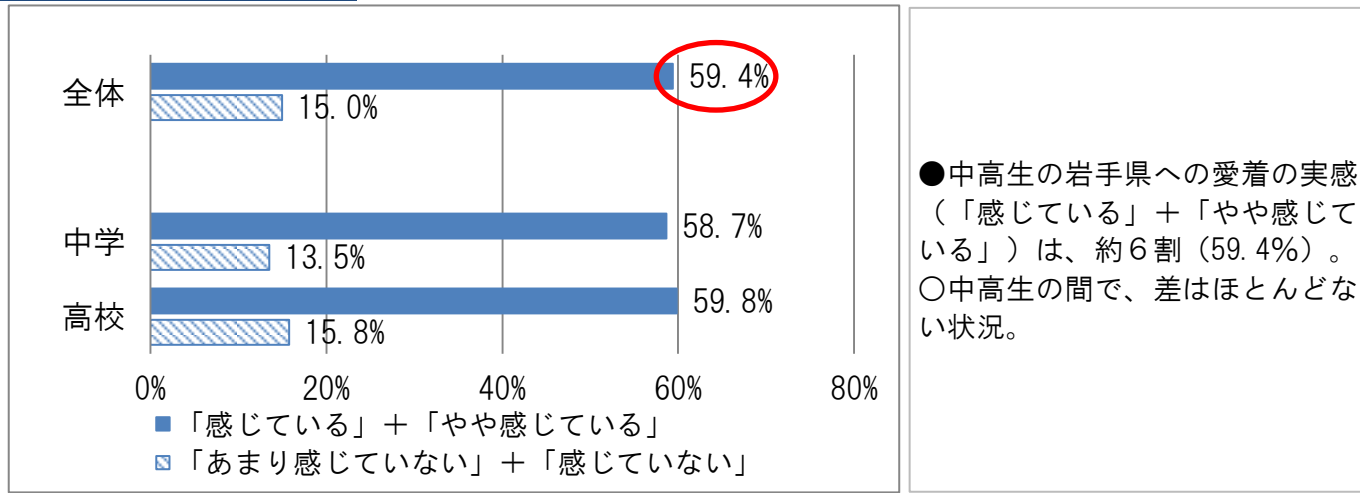
## 【本調査の活用方法】

これからの岩手を担う若者の意見として、今後の政策立案の参考資料とすることを想定。

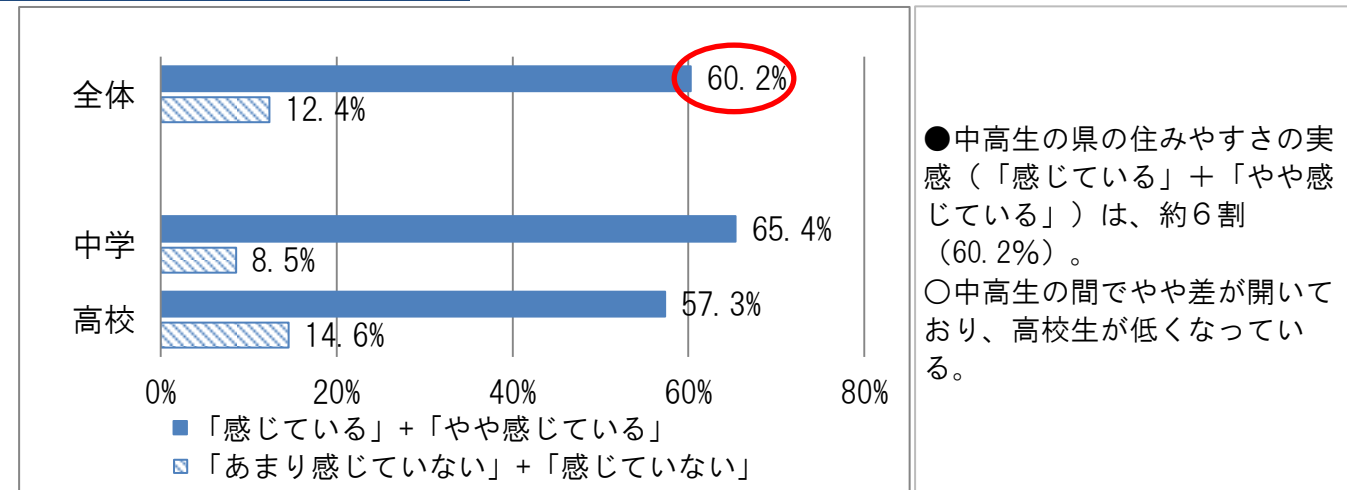
### 1 現在の幸福度



### 2 岩手県への愛着

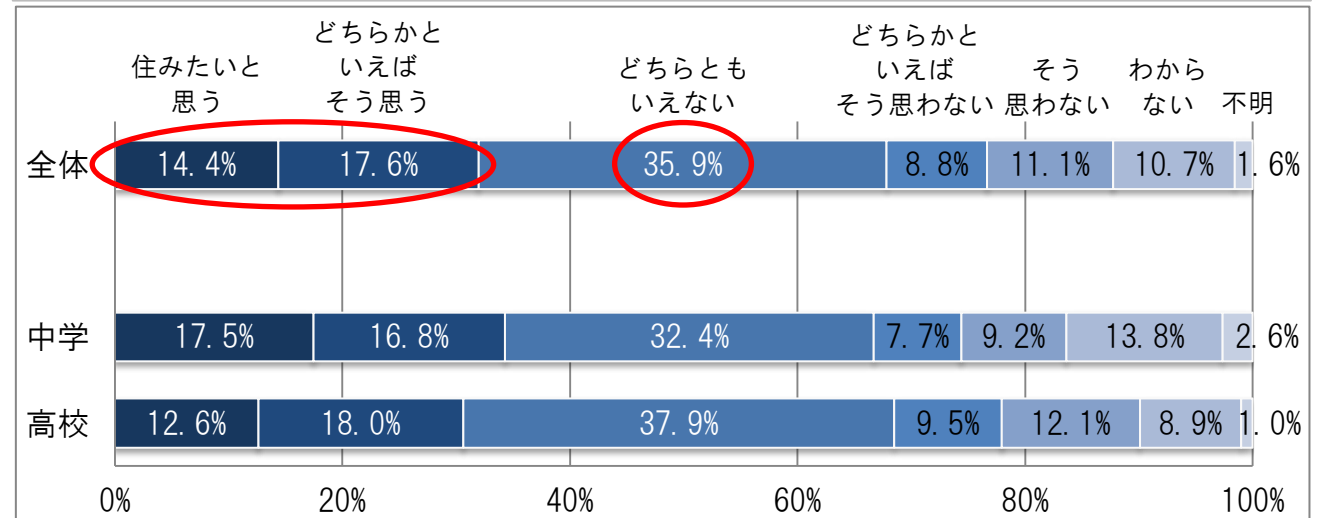


### 3 岩手県の住みやすさ



### 4 10年後も岩手に住んでいたい

● 中高生の10年後の岩手県への居住希望（「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」）は、約3割（32.0%）。一方で、現時点で10年後の居住に関して「どちらともいえない」との回答は県全体で約36%（35.9%）。  
○中学生の居住希望は約35%（34.3%）、高校生は約30%（30.6%）。現時点で10年後の居住に関して「どちらともいえない」との回答は、中学生が約3割（32.4%）、高校生が約4割（37.9%）。



### 5 10年後も岩手で住み続けたいと感じるために重要だと考える項目

● 「住まいやその居住環境が快適であること」、「希望する仕事があること」、「必要な収入が得られること」、「住んでいる地域が安全なこと」が上位4項目。  
○中学生は、「住んでいる地域が安全なこと」を最も重視。高校生は、全体の傾向と同様の項目を重視。

